

会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年7月27日（火曜日）午後4時00分から午後5時00分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	感染制御チーム会議		
議 題	高齢者施設向けコロナ対策事例集の作成について		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、福祉保健局関係部長・課長等		
配付資料	別紙のとおり		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「清潔区域」という言葉は、清浄度分類ではクラス2を意味し、病院では手術室等が該当するが、高齢者施設向けの事例集なので、「事務室などのエリア」と記載した方が分かりやすい。 ・おむつカートは、汚物と未使用のおむつや交換用の手袋が、カート上に混在してしまうことが問題。ただ、介護現場でおむつカートの使用は欠かせないので、使用してはいけないと記載するのは難しい。おむつカート使用時の注意として、積載する物を極力減らし、汚染されたものと清潔なものとを明確に分別するように注意喚起するのがよい。 ・消毒の事例は、手すりやドアノブなど消毒する対象も記載した方が読んでいる人に分かりやすいと思う。 ・ゾーニングの正しい事例で、「レッドゾーンとグリーンゾーンを明確に区別し、交差の機会を減らすことが必要」とあるが、「交差の機会を減らす」では弱いので、「交差しないようにする必要がある」と記載した方がよい。 ・「ナースステーション」と記載があるが、高齢者施設では「スタッフステーション」と呼んでいるケースが多いので、記載を修正した方がよい。 ・疑似症患者の対応について、フローチャートを作成する際には「専門家の支援を受けて」と記載されているが、支援を受けることが困難な場合もあるので、公的機関から出ているガイドラインも参考にしよう記載したほうが良い。また、フローチャートがあっても、看護師のいる日中は対応できるが、不在の夜間に対応できないといった施設もあるので、どの職員も同じように対応できるようにと記載した方がよい。 ・歯ブラシについては、個別管理が必要ということだけでなく、消毒する必要がないことも正しい事例と解説に記載した方がよい。 ・現在の事例数は16事例だが、これ以外に掲載すべき事例があれば、ご意見いただきたい。 		
作成者	計画課 寺島	確認者	東京感染症対策センター担当 課長 古嶋